

学活の時間に、ある物語を通して、自分たちが日常で生活してく上での軸となる大切なお話を聞きました。

その物語は、二人の小人を主人公に物語が展開していきます。二人の小人のうちの一人目、ヘムは新しい変化におびえ、そこから仲間の力を借りても頑固で、自分の思う行動を第一に考えています。もう一人の小人、ホーは、状況が新しく変化したら、多少の不安があっても自分を信じてすぐ行動に移しています。そして、この二人の小人を通して、いつもあるはずのものがなかった時、どのような意志を持って行動していくのかを問うようなお話だと感じました。

この物語に共感できる点として、過去に私もヘムと同じような経験をした事がありました。それは、私の性格もあってか、たまに人が何気なく言った言葉について深く考え込む悪い癖があり、その癖と同時に“誰かのせい”という言葉も思い起こして、一人で被害妄想をふくらませるといことです。この行為は、今も正直、なかなか直っていません。この物語でいうとヘムと似ていて、自分が思ったことは貫き通さなきゃいけない、という頑固な性格です。

でも、ある時お世話になっている人に言われた言葉で物凄く今後にも良い刺激になったことがあります。その言葉は、「他人は何をしても自分の力では変えることは出来ないが、自分は自分の力で切り替えて新しく行動することが出来る」というものです。

当たり前のように、今私たちが生活していく中での軸となる大切な言葉だと私は感じました。その言葉を聞いてからは、何か困難な壁があつたとしても柔軟な姿勢で自分の考えと行動を変えようと色々な事に努力しました。失敗した事も多々あつたけど、自分を変えていく事で人に分かってもらえたり、自分が居て居心地の良い環境に変えたりする事もできました。困難なことがあつても、これからマイナスな面だけにとらわれすぎずに、自分を信じて前進するようなモチベーションの維持も心がけようと思いました。

そして、授業の中で、この物語に出てくる“チーズ”と“迷路”とは一体何かという事と、この物語で一番伝えたい事はどんな事かというテーマにグループで話し合いをしました。考え方は人それぞれなので色々な意見が出てきました。グループ内で意見を交換する事で、自分の知らない物語の深さを発見出来て、とても良い時間だったと思います。

私のグループでは“チーズ”が『幸せ』という意見にまとまりました。確かに人間も同じで、幸せを求めながら日々いろんな事を頑張ったり悩んだりして生きていくからこの物語に合っている答えだと思いました。次に“迷路”は『人生』という意見になりました。物語の中でヘムとホーの感情を通して考え、自分たちの中でそれが一番近い答えだと思いました。

最後にこの物語で一番伝えたい事は何かという話題になった時は、「十人十色で、ヘムの考えや行動もおかしくない」という意見や、「過去にとらわれず、考えを変えて行動することが大事」という意見など物語の深さを痛感する事の出来た時間でした。

この授業を通して、意見を友達に伝えるという大切さを強く感じたと同時にこの物語に触れた事でいかに自分の考えや行動を切り替える事が大切なのかという事も、今後生きていく上で物凄く参考になりました。